

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	23-326	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Advancements in ferroptosis research and therapeutic strategies for alcoholic liver disease: a narrative review. フェロトーシス研究とアルコール性肝疾患の治療戦略の進歩：物語的レビュー		
執筆者		
Bo JQ(1), Guo ZP, Han YH, Liu LX.		
掲載誌		
Eur Rev Med Pharmacol Sci. 2023 Oct;27(19):9296-9308. doi: 10.26355/eurrev_202310_33957.		
キーワード	PMID	
フェロトーシス、アルコール性肝疾患、オートファジー脂質過酸化カスケード	37843343	
要旨		
<p>フェロトーシスは、鉄過剰による脂質過酸化カスケードを特徴とする、プログラムされた細胞死の新しいメカニズムである。アルコール性肝疾患 (ALD) の発生率は世界的に増加しており、著しく高い罹患率と死亡率の一因となっている。ALD の病態は複雑で、絶えず進化するプロセスである。基礎および臨床研究のいくつかにより、フェロトーシスと ALD の開始および進行との相関性が確立されている。</p> <p>さらに、抗フェロトーシス薬はアルコール性肝障害の改善に有効であることが実証されている。本総説では、アルコール性肝障害に関するフェロトーシス研究の最近の進歩について概説し、抗酸化システムの不均衡、鉄過剰、オートファジー、ミトコンドリア、エピジェネティックな変化、およびフェロトーシスを標的とした将来性のある治療薬を取り上げる。我々の目的は、アルコール性肝障害の治療におけるフェロトーシス関連の診断と治療介入の可能性を明らかにすることである。</p>		